

国内産いもでん粉製造事業者の経営改善計画の認定について

砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律に基づき、国内産いもでん粉製造事業者に対して交付される交付金については、当該事業者がその経営の改善を図るための措置に関する計画を作成し、その内容が適当である旨の農林水産大臣の認定を受けていることが、交付対象要件の一つとされています。

今回、認定を受けた事業者及び経営改善計画の概要は以下のとおりです。

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
1	ようてい農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	でん粉工場の製造原価を低減するため、人件費・修理費の圧縮、原料集荷量の増加に向けた集荷推進に実施により生産性向上を図ることで、でん粉工場の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・各計画年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を平成28～令和2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均に比較して、1.19%以上低減する。 ・令和6事業年度における修繕費を令和2事業年度と比較し、5%以上削減する。 ・産業廃棄物として処理しているでん粉粕について、令和3事業年度までに平成28～30事業年度発生量の平均と比較して、30%削減する。	R5.1.30
2	北ひびき農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	計画的に製造設備の更新を行い工場稼働率の向上を図るとともに、経費全般の削減に努め、経営の改善に努力し、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費を平成29年から令和3年までの実績の5年中庸3カ年平均値に対し1.19%以上の削減を図る。 ・消耗品費の令和3年度実績に対し、計画最終年度までに5%の削減を図る。 ・一般管理費の令和3年度実績に対し、計画最終年度までに5%の削減を図る。	R5.1.30
3	土幌町農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	ばれいしょ生産者への啓蒙活動の実施や省エネ・高効率機器の導入によりコスト低減を行うことにより、安心・安全だけではなく安定生産・安定供給を軸に地域社会を含めた全てのステークホルダーに満足して頂けるような運営を行う。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・各計画年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均に比較して、1.19%以上低減する。 ・R6事業年度における製品品質としてでんぷん白度をR3事業年度と比較し0.1ポイント工場させる。 ・R6事業年度までに高価格用途向けに需要開発を行い供給する。	R5.1.30
4	東部十勝農産加工農業協同組合連合会 (ばれいしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	高でん粉含有原料用ばれいしょの計画的な集荷により工場の稼働率向上を図るとともに、重油使用量の低減により製造経費の削減を図り、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・単位製品重量当たりの製造経費を令和6事業年度末までに糖価調整法第36条第2項第2号の標準的な製造経費の額を下回る水準とする。 ・R6事業年度における減価償却費をR3事業年度と比較し、5%以上の低減させる。 ・R6事業年度における1袋当たりのA重油使用量をR1～R3事業年度平均と比較し、1%以上低減させる。	R5.1.30

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
5	南十勝農産加工農業 協同組合連合会 (ばれいしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	会員農協と協力して原料生産技術の向上等により原料処理の増加を図り、工場の稼働率を向上させ、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・各計画年度における減価償却費、人件費、長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヵ年平均と比較して、1.19%以上削減させる。 ・でん粉原料用専用品種の作付面積におけるシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合を、90%以上にする。 ・原料受入を6日間に集中させることにより原料集荷の効率化を図るとともに、運送業者のドライバーの働き方改革対応につなげる。	R5.1.30
6	美幌地方農産加工農業 協同組合連合会 (ばれいしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	排水の嫌気処理施設の効率的な運用により臭気の軽減を強化し食品工場としての環境改善に努めるとともに、副産物であるたん白飼料の販売単価増加や付加価値の高いでん粉製造等により製造コストの低減を図り、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・計画期間における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期借入金利息を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を、H28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヵ年平均と比較して1.19%以上低減する。 ・付加価値の高いでん粉を製造し、販売単価を増加させる。 ・令和7事業年度までに、副産物であるハイプロテイン製品の単価を令和2年度と比較し1%以上増加させる。	R5.1.30
7	清里町農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	施設整備の更新による円滑な工場操業と修繕費の低減継続を図るとともに、適正な輪作体系の中で作付面積を保持し工場稼働率を向上させることにより、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・単位製品重量当たりの製造経費を令和6事業年度末までに糖価調整法第36条第2項第2号の標準的な製造経費の額を下回る水準とする。 ・計画年度中に補助材料費をR3事業年度を下回る水準に低減させる。 ・計画年度中に修繕費をR3事業年度を下回る水準に低減させる。	R5.1.30
8	斜里町農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	計画的な原料集荷による工場稼働率の向上を図り、電力費・燃料費の抑制に努めるとともに、販売単価の上昇による安定生産・安定供給可能な作付面積の確保に取り組むことにより、ばれいしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・各計画年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヵ年平均と比較して、1.19%以上削減させる。 ・計画的な原料集荷を実施し、原料の安定供給・稼働率工場により操業日数の短縮を図る。 ・製品販売単価の上昇及び工場経費抑制を図り、生産者の手取り・生産意欲の向上につなげ、作付面積の維持・確保に努める。	R5.1.30
9	小清水町農業協同組合 (ばれいしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	各地区より専任されたでん原ばれいしょ対策委員会の協力による生産性向上や車両洗浄の徹底による病害虫蔓延防止及びカップ検診での圃場センチュウ密度把握による効果的な抵抗性品種の作付拡大、さらに関係機関・関連部署との連携による防除技術及び適期の情報提供に努め、工場稼働率の向上を図ることにより、工場の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヵ年平均と比較して1.19%以上削減する。 ・計画的な集荷体制の構築により効率的な原料受入れを図るとともに、栽培技術の向上及び肥培管理の徹底による反収増加により原料生産量を増加させる。 ・乾燥設備や製粉施設の効率化により消費電力を削減させる。	R5.1.30

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
10	いぶすき農業協同組合 南さつま農業協同組合 さつま日置農業協同組合 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	生産農家との連携による計画的な原料集荷や高品質のでん粉製造・食品用途向け販売数量の拡充等により、かんしょでん粉製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・各計画年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を1.16%以上削減させる。 ・基腐病に比較的強い「こないしん」の継続作付栽培及び作付面積拡大と新品種「みちしずく」の作付を推進する。 ・R6事業年度までに、工場より排出されるでん粉粕の産業廃棄物処理を29事業年度以下に削減する。	R5.1.30
11	鹿児島きもつき農業協同組合 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	かんしょ栽培の向上のため育苗にて優良品種を推進し作付け面積拡大及び病害抑制指導を行うとともに、食品用途として高品質な製品製造を行うことにより、かんしょでん粉製造事業の経営の改善を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・各計画年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を1.16%以上削減させる。 ・基腐病に比較的強い「こないしん」の継続作付栽培及び作付面積拡大と新品種「みちしずく」の作付を推進する。 ・病害被害収穫対策更に2期作耕作者の作付け推進し、作付面積を拡大。	R5.1.30
12	株式会社サナス (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	バイオ苗の販売促進と新品種原料の作付け拡大に取り組むことにより、工場稼働率の向上を図るとともに、付加価値の高い高品質な製品づくりを推進し、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する等によりかんしょでん粉製造事業の安定的な運営を図る。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・各計画年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均を平成28～令和2年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して1.16%以上削減させる。 ・原料かんしょ生産者または収穫面積を増加させ、原料集荷量を令和6年度までに令和2年度に比し21% 高める。 ・高品質の製品を製造し、食品用途向けへの販売数量を令和2年度から令和6年度までに19%高める。	R5.1.30
13	株式会社加治佐澱粉工業 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	病気等に強い優良品種の導入やバイオ苗の普及促進を図るとともに、耕作地の改善を促すことにより原料確保の推進に努める等により、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・計画期間における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、1.16%以上削減する。 ・R6事業年度における製品販売単価をR3事業年度と比較し8%以上増加させる。 ・作業能率の向上を図ることで、R6事業年度における人件費をR3事業年度と比較して3%削減させる。	R5.1.30
14	株式会社廣八堂 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	製造経費の削減や優良品種・種苗の導入促進、人員・人件費の削減により、かんしょでん粉製造事業の安定的運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・計画期間における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、1.16%以上削減する。 ・R6事業年度におけるこないしんの集荷数量の割合を全集荷量の1.5%増加させる。 ・R6事業年度における製品販売単価をR3事業年度と比較し、5%以上増加させる。	R5.1.30

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
15	有限会社廣瀬澱粉 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	バイオ苗・種芋の配布、新品種の普及により工場稼働率の向上を図り、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、1.16%以上削減させる。 ・R6事業年度における産業廃棄物の数量をR3事業年度と比較して1%削減させる。 ・R6事業年度における減価償却費をR3事業年度と比較し、1%削減させる。	R5.1.30
16	西阪産業株式会社 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	品質の一層の向上による高付加価値製品の生産と作業効率の向上に努め、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・減価償却費・人件費・固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヶ年平均に比して、1.16%以上低減させる。 ・高価格用途への供給増加と製品販売単価の増加に努める。 ・人件費及び一般管理費の削減に努める。	R5.1.30
17	福井澱粉有限会社 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	①生産組織等の担い手育成による契約数量の拡大 ②優良品種の導入 等により工場稼働率の向上を図り、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3ヶ年平均に比して、1.16%以上低減させる。 ・優良品種の導入促進により、令和2事業年度における作付面積を令和6事業年度に拡大させる。 ・令和6事業年度における減価償却費をR2事業年度と比較し、15%以上低減させる。	R5.1.30
18	三和物産株式会社 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	原料用かんしょの優良品種の導入を推進し原料の安定的確保に努め、でん粉製品歩留りの増加による生産性の向上を図り、かんしょでん製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、1.16%以上削減させる。 ・新品種であるみちしずくの普及拡大を図る。 ・でん粉製造工程で排出されるでん粉粕を有効活用する新たな再利用先を確保する。	R5.1.30
19	市丸産業株式会社 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	優良種苗の導入及び早期植付け推進により反収増を図るとともに、工場の機械改造等による品質向上や効率的な運転体制への改善により、安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・各会計年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、1.16%以上削減させる。 ・新品種やバイオ苗の導入促進を図るための支援や普及活動を行い、令和3事業年度と比較し、単収を10%増加させる。 ・機械の効率化を図るとともに労働環境の整備により稼働時間を短縮し、単位製品重量当たりの人件費を令和3事業年度と比較し3%削減する。 ・製造機械の改良を行い時間当たりの出来高を令和3事業年度と比較し、8%増加させる。	R5.1.30

番号	事業者名 (製品の種類)	計画の 実施期間	経営改善計画の概要	認定 年月日
20	有限会社中村澱粉 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	種子島一元集荷連絡協議会の下、効率的な工場運営に努めながら品質の良いかんしょでん粉を製造し、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標) ・各計画年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、1.16%以上削減させる。 ・R6事業年度における修繕費をH28～R2年の中庸3年平均と比較し、5%以上低減させる。 ・減価償却費をH28～R2年の中庸3年平均と比較し、5%以上低減させる。	R5.1.30
21	有限会社永松産業 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	自社農場でのいも生産技術のノウハウを生産農家に共有することにより、増反を図るとともに、種子島一元集荷連絡協議会の下、効率的な工場運営に努めながら品質の良いかんしょでん粉を製造し、かんしょでん粉製造事業の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・各計画年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、1.16%以上削減させる。 ・機械等の以上を早期発見し修理を行うことにより、R6事業年度終了までに修繕費をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して5%以上低減させる。 ・新規設備投資を控え、H28～R2でん粉年度の減価償却費をH28～R2年の中庸3カ年平均と比較して5%以上低減させる。	R5.1.30
22	株式会社都食品 (かんしょでん粉)	R4.8.1 ～ R8.1.31	自社ほ場でのでん粉原料用いもの生産拡大や契約農家へのバイオ苗の提供等により集荷量を増加させ、工場の安定的な運営を維持する。 (生産性の向上の程度を示す指標等) ・各計画年度における減価償却費、人件費、固定資産税及び長期有利子負債を除く単位製品重量当たりの製造経費の平均をH28～R2でん粉年度の製造経費の5年中庸3カ年平均と比較して、1.16%以上低減させる。 ・自社ほ場の作付面積をR3事業年度に比べ、10%以上増加させる。 ・契約農家においてこないしんの作付面積をR3事業年度から20%以上増加させる。	R5.1.30

(問い合わせ先)
農産局地域作物課
電話:03-6744-2115(直通)(内線4841)